

## ◆幼児共育ふれあい広場◆

### 事例1 「おやこの真ん中に絵本を」

会 場：しばはしさくらんぼ子供園（寒河江市）

講 師：渡邊 裕子 氏（県家庭教育アドバイザー）



#### <研修内容>

##### 【0～2歳児の保護者会】

～絵本ってどんなものでしょう 絵本の魅力に触れて  
みましょう～

- ・0, 1, 2歳児の子どもたちと絵本を楽しむには？
- ・ちょっと見てどこかにいっちゃうけど？
- ・いつからいつまで読んであげるの？
- ・どんな風に読めばいいの？
- ・電子書籍もあるけど紙の絵本との違いは？
- ・どんな本がいいのかな？



#### <参加者の感想>

- ・大人の考え方とは全く別の考えで、子どもは絵本を読んでいると再認識できました。
- ・二人の子を育てています。先生の話聞いて、5才の子はこんな気持ちだったんだ、1才の子には忙しくてちゃんと本を読めていなかった…と思わず涙が出てきました。絵本って大事ですね。先生の声にも癒されました。
- ・本はコミュニケーションの一つだと分かりました。いつまで経っても読み聞かせは続くものだと思えることができ、今後たくさん本を読んであげたいと思いました。

### 事例2 「しめ飾り作り教室」

会 場：金山町農村環境改善センター（金山町）

講 師：栗田 由香 氏

#### <教室内容>

- 1 親子でしめ飾りの手作り講座を楽しむ。
- 2 講師の先生より、個別に丁寧に作り方を教えてもらう。

→ 参加者同士、作品を見せ合うことで、交流が生まれた。また子どもたち同士もすぐに仲良くなり、作り終わると遊んでいた。



#### <参加者の感想>

- ・子どもが自分の好きなように考えて作ることができていい経験でした。
- ・物作りが好きな子なので、完成して嬉しそうな表情を見て参加してよかったです。
- ・子どもの自由な発想力に気づけました。

### 事例3 「親子で楽しむクリスマスリースづくり」

会場：肘折保育所（大蔵村）

講師：ハナ屋花店 軽部美貴子氏

#### <親子体験>

- ・クリスマスリース制作を通して、一緒に作る楽しさと親子のふれあいを図る。
- ・リースの土台に、針葉樹（スギ、ヒバなど）を巻き付け、その上にホットボンドを使って色付けした松ぼっくりや木の実、オーナメントなどを飾りつけた。



#### <参加者の感想>

- ・親子で一緒に作品を作る機会があって楽しい時間を過ごせました。
- ・親子でゆっくり楽しめました。ものづくりにいきおいがあってテンションが上がっている姿がとても良かったです。



### 事例4 「ひだまりおはなし会」

会場：宮内双葉保育園（南陽市）

講師：ひだまりおはなし会

#### <親子ふれあい体験講座「ひだまわりおはなし会」>

- ・子どもたちに馴染みのある絵本のストーリーに様々な楽器（電子ピアノ・チェロ・フルートなど）で効果音を付けたオリジナルの音楽劇の鑑賞

#### <参加者の感想>

- ・進行の方が引き込まれるような語りで魅力的でした。演じる方、音楽担当の方、語りの方、全てが素晴らしかったです。バックの絵も素晴らしかったです。
- ・素敵な生演奏を聴きながら迫力あるナレーションで孫たち以上に楽しめました。来年も楽しみです。
- ・子どもを家庭だけでなく、地域ぐるみで育てていくのは、本当に大切だと思う。



## 事例5 「親子でヒップホップダンス」

会 場：なかよしこども園（高畠町）

講 師：近野 裕 氏

### <親子ふれあい体験講座>

- 1 「体の仕組み」について
- 2 親子でできる簡単な体幹トレーニングの  
実践
- 3 リズムに合わせて体を動かそう、  
そしてヒップホップダンスを楽しもう



### <参加者からの感想>

- ・子どもへの接し方や声のかけ方など、見直すきっかけになりました。
- ・体を動かすことで自然に笑顔になった。
- ・子どもの頃から体のゆがみが出ていることを知りました。日常的にできるストレッチを知ることができて良かったです。



## 事例6 「家族で楽しむマジックショー」

会 場：認定こども園 杉の子幼稚園（遊佐町）

講 師：保科 元 氏（庄内町算数数学マイスター）

### <親子体験>

- ・マジックショーを楽しみ、家庭でのふれあいのきっかけにする。

### <参加者の感想>

- ・家庭に戻っても、同じ体験をしたことで会話が弾み、さらに楽しい時間を持つことができました。
- ・今回の講座をきっかけに、子どもの「自分もやってみたい！誰かに見せたい！」という気持ちが育ち、チャレンジする姿を家族みんなで見ることができました。そんな子どものやってみたい気持ちを引き出すのに、園や地域、家族の連携が大事なのだということを感じました。



**事例7** 「親子でネイチャーゲームを楽しもう」※小鳩保育園の実施事業

会 場：万里の松原（酒田市）

講 師：佐藤 裕子 氏、尾形 則子 氏、池田 留美 氏

（山形庄内ネイチャーゲームの会）

<親子体験>

- ・準備体操
- ・「同じものを見つけよう」：リーダーが事前に集めた自然のものと同じものを親子で探す。
- ・「フィールドビンゴ」：ビンゴカードを使い、親子で見つけたものにシールを貼る。
- ・「おにぎりカード」：おにぎりの杵を花や石に置いたり空にかざしたりしておにぎりを作って楽しむ。

<参加者の感想>

- ・虫や花木などを観察しながら小さい頃に自分が遊んだ時のことを思い出して教えることができたので楽しかったです。
- ・参加しなければたぶん知らずに過ごしていくと思うのですが、「子どもの日常」の中にもっと目を向けてみようと感じました。

